

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年4月19日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970400200
法人名	有限会社 ライフ
事業所名	グループホーム レッツ
所在地	〒783-0091 高知県南国市立田字庄司芝1544番地2
自己評価作成日	平成21年11月15日
評価結果市町村受理日	平成22年4月30日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年12月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3970400200&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームのユニットは、民家改修型とバリアフリーの特徴を持つ2ユニットで、利用者の身体状況などに応じて利用いただけるようにしている。また、日々の生活のなかでは、食事作りや洗濯など、利用者が出来ることに役割を持ってもらい、お互いが助け合って暮らしていくよう支援している。また、地域のボランティアや住民の皆さんとの交流を積極的にいき、地域の一員としての暮らしを支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

穏やかな田園地帯の中にあり、遠くには紅葉の山並みも見え、落ち着いた環境である。敷地内には畑があり、野菜や花が数種類栽培され、花の観賞や野菜の収穫などが楽しみになっている。協力医療機関による往診や訪問看護も密で、利用者、家族と信頼関係を築いている。また、利用者の意向に沿って、毎日の散歩やドライブや外食に出かけ、地域のボランティアや地域住民の支援が得られるなど、地域と支え合いの関係を大切にしており、今後も、地域密着型の事業所としての発展が期待できる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を職員、家族等、来所者の目の触れる所に掲示し、ケアが具現化出来るよう心掛けている。	地域密着型としての独自の理念があり、毎朝の朝礼で職員の意識付けを行い、日々のサービス提供場面で、利用者のペースに合わせて支え合っていくケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩に出掛ける際、近隣の方と気軽に挨拶を交わしている。地域の行事等は市の広報で調べたり、近隣の方から情報をもらって参加している。また、ご近所の方がボランティアとして来てくれている。	自治会の加入を現在検討している。散歩時には地域の方に挨拶し、地域の方はボランティアで訪問してくれたり、飼料を届けてくれるなど、地域に溶け込んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の方の介護に対する相談や介護サービス利用に対する相談も気軽に対応させていただいている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの状況や、日々の取り組み等を報告し、意見、アドバイス等を受け、サービスが向上できるように職員会での話し合いを持っている。	会議は、事業所からの報告とともに参加者からの意見、質問も行われており、活発で双方向的な会議となっている。前回の評価を受けての改善点も報告し、家族の意見も反映されている。	運営推進会議は3カ月に1回開催されているが、運営基準や評価制度等を踏まえ、2カ月に1回の開催を検討されることを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>事あるごとに代表者、管理者が市の担当者を訪ね、話し合い、指導、アドバイスを頂いている。運営推進会議時にも同様、指導、アドバイスを頂いている。</p>	<p>常日頃、事業所から市に出向き、日常的に助言を受けている。また、市主催のグループホーム合同学習会に参加するなど、協力関係が築かれている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束に関する研修会に参加し、伝達講習を行っている。身体拘束廃止項目を、いつでも職員が目を通せる所に保管している。日中は玄関等に施錠せず利用者の出入りも自由にしている。</p>	<p>身体拘束に関する外部研修と内部での伝達講習、新任職員研修を通じて、職員の理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。外出傾向のある利用者には行動パターンに気をつけ、地域住民の協力も得て、見守り支援をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に関する研修会に参加し、伝達講習を行っている。また、職員の悩みや疑問に思っている事を、その都度聞いてストレスの軽減が出来るよう努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員会で、代表者から日常生活自立支援や成年後見制度についての説明を受けている。以前に地域福祉権利擁護事業を活用したケースもある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には充分説明し、理解、納得が得られるよう努めている。説明も一方的にならないよう注意し、不安や疑問等遠慮なく出していただけるよう心掛けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者に担当職員が決まっております。担当が意見や不満をお聞きしている。必要に応じ、代表者及び管理者が同様の対応をしている。また、その内容を職員会時に話し合いを行っている。	2カ月毎の家族会で意見、要望を聞き、運営に反映させている。また、担当の職員が家族の意見等を聞き、職員会で話し合い、情報の共有や対応の検討を行っている。家族の要望を受けて、担当職員が暮らし振りなど、手紙で知らせている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一回の職員会の時の意見交換を行っている。随時必要な時は一対一で意見、提案できる機会を設けている。	毎月の職員会や、随時個人面談するなど、職員の意見や提案等を聞く機会を設け、ケアの相談を受けたり、業務へのアドバイスなど、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の努力や勤務状況を把握できるよう、月に何度か職員個々と話し合いが出来る時間を確保している。また、キャリアパス、介護職員処遇改善交付金の配分等、職員会議で説明を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が希望する研修の他、管理者が予定を調整し、職員個々に合った研修に参加できている。研修後、報告書を作成、伝達講習を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	全国や県域、市単位の協会等に所属しており、講演、勉強会には代表者、職員が参加し、同業者と交流する機会になっており、サービスの質が向上するよう努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	あらかじめ余裕を持って面接の時間をセッティングし、管理者や介護支援専門員及び職員がご本人と充分お話する時間を持つようにし、ご希望や不安などをお聞きしたうえ、職員間で情報を共有し、早く馴染んで頂ける様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申込、相談や見学は可能な限り、管理者、介護支援専門員が受けるようにしており、ご家族の不安な事、求めている事を出来るだけ複数の職員で聞く事により、色々な状況に対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族と十分な話し合いを行い、思いや状態を確認し、信頼関係を築きながら、改善に向かっていくような支援が出来るよう、心掛けている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>出来る事、出来ない事をご本人との会話や生活の中で見極め、無理のない範囲で家事や園芸に参加をしていただいている。職員が生活の中で色々な事を教えていただくことも多くある。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族会やお便り（田園）を通じ、ご本人の情報を家族と共有している。体調の変化等ある場合は、家族と相談し、一緒に考えよりよい方法を模索している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居前より利用していた美容室に出かけたり、また、友人等の来所もある。手紙等で連絡をとるなどし、継続的な交流も出来ている。</p>	<p>馴染みの美容院に行ったり、量販店に買物に行く利用者もいる。また、自宅の感覚で友人や家族が事業所に泊まることなど、継続的な交流ができるよう働きかけている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	台所仕事、洗濯干し、畑仕事等、利用者同士が一緒に行えるよう、職員が利用者間の橋渡しを行い、関係がうまくいくよう調整役となり支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療機関での治療が必要となりホームを退居された場合には、お見舞いに伺ったり、死亡された場合も葬儀に参列させていただいている。退居後、相談等ある場合には、代表者、管理者が対応を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員が日常的な会話などから、思いや希望の把握に努めている。担当職員は常に意欲の発掘に心がけている。	日々の生活の中で、利用者の言葉や表情などから思いを把握するように努めている。居室での会話時や夜のリラックスした時などに要望が出やすく、そうした機会を捉えて把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前、入居時に十分な時間をとり、これまでの生活歴や生活環境、サービス利用の経過等、ご本人、ご家族から聞き、職員が把握するようにしている。入居後、新しい情報が得られた場合も記録し、職員が把握できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	加齢、病気などからくる体調変化等に注意しながら、日中の過ごし方、心身状態、有する力等、申し送り、記録等で職員全員が把握するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者との日頃の関わりの中で、思いや意見を聞き、アセスメントを行い、カンファレンスに関しては家族に参加していただき、意見やアイデアが介護計画に反映できるよう努めている。	介護計画は3カ月毎に担当職員がアセスメントし、家族を含めたカンファレンスで意見交換を行い、計画を作成している。計画は状態に応じてその都度の見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に沿った個別記録を行っている。また、プランチェック表を利用し、日々介護計画が実践できているかチェックし、介護計画見直し時に活かせるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の状況に応じて、通院等柔軟に対応している。また、ボランティアの方のマッサージ等、利用者のニーズに対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方に来ていただき、趣味、嗜好に沿った歌や踊りを催していただいたり、ヤクルト、パン、豆腐等の訪問販売もしていただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関、協医歯科医療機関以外にも、本人や家族の希望により他医療機関も受診している。必要に応じ、付添いや、家族とも同行している。	本人、家族の希望する医療機関への受診に、必要に応じて職員も同行している。受診結果については家族と共有し、また、職員間は受診ノートで情報を共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関の訪問看護を週に一度受けている。その都度状態を報告し対応方法を相談している。入居者の相談にも気軽に応じている。また、訪問看護師と主治医の連携が十分できており、迅速かつ適切な医療を受ける事が出来ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院中は職員が何度か訪問させていただき、不安感を出来るだけ軽減できるように努めている。また、できるだけ早期退院できるよう、医師、看護師、相談員等との話し合いを持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の意向をふまえ、主治医と話し合い、本人、家族の希望に出来る限り沿え、安心して最期を迎えられるよう、職員全員で方針を共有しケアを行うよう努めている。</p>	<p>看取りの指針があり、利用者、家族との話し合いを重ねている。これまでに看取りの経験もある。協力医療機関より、休診日以外は毎日の往診、週一回の訪問看護があり、医療との連携体制も出来ている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修会に参加したり、主治医や訪問看護師から急変に対する応急処置等の御指導をいただいている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に二回、消防署の協力のもと、避難訓練を行っている。その際、地域住民に声をかけさせていただき、参加、協力も得ている。</p>	<p>地域住民の協力も得られ、年2回の避難訓練を消防署の協力のもと実施している。非常用の食料等の準備はしているが、県の地震防災対策マニュアルの基準からすると少ない。</p>	<p>非常用食料等の備蓄量は、高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルを参考に検討されることを期待したい。</p>
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>さりげない介助、言葉かけを心掛け、本人の気持ちやプライバシーを損ねないように努めている。毎日使用する記録は他者の目の触れないよう注意している。個人情報についても事務室にて鍵をかけ保管している。</p>	<p>職員研修で、日常的に礼儀を大切にすることを徹底している。目線の高さを同じにしての対話など、利用者の誇りを傷つけない、プライバシーを損ねないように努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ドライブの行き先や食事の献立、日中のレク等、入居者の希望に沿えるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人のペースが尊重できるよう、業務を優先しないよう心掛けている。入居者に気軽に話し掛けていただき、希望が聞き出せるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の更衣時、服の選択は基本的に自己決定していただいている。また、本人と担当職員と一緒に買い物に出掛け、その人らしいおしゃれが出来るよう服や小物等も購入している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえ、盛り付け等なるべく入居者にも参加していただいている。一つのテーブルに入居者と職員が一緒につき、楽しい食事が出来るよう、会話やさりげない介助を心掛けている。また、入居者により刻んだり、量を調節させていただいている。	献立は利用者の希望で変更したりすることもある。調理等についても能力に応じて役割を担っている。職員も同じものを一緒に食べ、楽しい食事時間となっている。お正月には代表者が皿鉢料理を作っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立と食材は記録し、栄養バランスを考慮している。利用者の状態に応じ個別記録を行っている。また、不定期ではあるが、栄養士にカロリー計算を頼み、職員の意識づけも行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	生活習慣の違いにより、全員は毎食後歯磨きはされていないが、うがい等、一人ひとりに応じた声掛け等の支援をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、声掛けや誘導を行っている。パット等も時間帯や季節に合わせ、見直しを行い、不快感が少なくなるよう努めている。	入居時より排泄パターンの把握に努めて支援している。原則的にはポータブルトイレは使用せずに、トイレでの排泄を支援し、自尊心を傷つけないよう工夫している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を使用し、排便パターンの確認を行っている。予防のためヨーグルトやヤクルト等を定期的に提供している。また、便秘の方には水分補給や体操、入浴時のマッサージ等、気をつけ取り組んでいる。便秘が継続する場合は主治医の指示を仰いでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	希望者は毎日入浴できている。一人での入浴を嫌がる利用者には、仲の良い方と一緒に入ったり工夫している。入浴を希望されない方には、清拭や足浴、手浴を行い支援している。	入浴時間は、16時から18時を基本としているが、利用者の希望は取り入れている。入浴を拒む人には仲の良い方と一緒に入浴したり、散歩やドライブの後にタイミングを見て支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心して 気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>睡眠パターンを把握したうえで眠 れない場合原因を見極め、温かい飲 み物を提供したり、会話をするなど し、ゆっくり落ち着ける雰囲気にな るよう配慮している。また、日中は なるべく体を動かすよう心掛けている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確 認に努めている</p>	<p>個人のファイルに処方箋を保管 し、いつでも職員が目を通せるよう にし、目的、効能、副作用など把握 できるよう努めている。また、処方 に変更があった場合、利用者の状態 変化等にも気をつけ、記録をとるよ うにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせ るように、一人ひとりの生活歴や力を 活かした役割、嗜好品、楽しみごと、 気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの生活歴や好みや能力 に応じ、日常の暮らしの中で、楽し んだり、活躍しながら役割が担える よう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に努 めている。また、普段は行けないよう な場所でも、本人の希望を把握し、家 族や地域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している</p>	<p>ホームが田園地帯にあり、交通の 心配をせず散歩に出掛けられる。入 居者の希望でドライブも頻繁に出掛 けている。家族の協力もあり、家族 と一緒に外出される方も多い。</p>	<p>散歩を日課としており、車椅 子利用者も近くの神社に頻繁に 参拝している。週に2～3回は ドライブに出かけ、利用者の希 望に応じ外食する機会も多い。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>数人の入居者はお小遣いを所持しており、外出時には好きな物を自分で選び、支払をしている。所持していない方も、必要時には立替、自ラレジ等での支払いが出来るよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人が電話での会話を希望される場合、会話を楽しんでいただいている。ダイヤル等については、個人の能力に応じ支援している。本人、家族の希望で携帯電話を所持している方もいる。手紙は不定期であるが、家族、友人等に出すよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>防火カーテンを各居室や廊下等で使用し、不快な光が入らないようにしている。また、テレビや会話の音量や調子も不快にならないように気をつけている。節句、七夕、クリスマス、お正月等には入居者と共に飾り付けを行い、季節感を味わっていただけるようにしている。</p>	<p>テレビの音や照明等を不快にならないよう配慮するとともに、季節に応じた装飾や、利用者が思い思いにくつろぎ、和やかに過ごせるよう、家庭的な雰囲気作りに配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングの他に、縁側等に椅子を置いて、思い思いに過ごせるようにしている。玄関先には椅子とテーブルを置き、自由に外に出てくつろいだり、花が眺められるよう工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前より使っていた家具や思い出の品を持ち込んでいただき、本人が居心地良く落ち着いた雰囲気でご過ごせるよう配慮している。仏壇や本人や家族の作品を飾ったり、必要最小限の物しか置かない方と、一人ひとりの個性が出ている。</p>	<p>利用者一人ひとりが、馴染みの物を持ち込み、居心地良く過ごせるよう、作品を飾ったり、整理整頓するなど、個別に工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下、トイレ、浴室には手摺りを設置し、一人ひとりの身体機能を活かせるようにしている。必要に応じ居室にも手摺りを設置している。民家改造型であるため、部屋に特徴があり、分かりやすくなっている。トイレには家庭的な雰囲気を壊さない程度の目印を付けている。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名： たんぽぽ棟	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を職員、家族等、来所者の目の触れる所に掲示し、ケアが具現化出来るよう心掛けている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩に出掛ける際、近隣の方と気軽に挨拶を交わしている。地域の行事等は市の広報で調べたり、近隣の方から情報をもらって参加している。また、ご近所の方がボランティアとして来てくれている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の方の介護に対する相談や介護サービス利用に対する相談も気軽に対応させていただいている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの状況や、日々の取り組み等を報告し、意見、アドバイス等を受け、サービスが向上できるよう職員会での話し合いを持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>事あるごとに代表者、管理者が市の担当者を訪ね、話し合い、指導、アドバイスを頂いている。運営推進会議時にも同様、指導、アドバイスを頂いている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束に関する研修会に参加し、伝達講習を行っている。身体拘束廃止項目を、いつでも職員が目を通せる所に保管している。日中は玄関等に施錠せず利用者の出入りも自由に行っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に関する研修会に参加し、伝達講習を行っている。また、職員の悩みや疑問に思っている事を、その都度聞いてストレスの軽減が出来るよう努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員会で、代表者から日常生活自立支援や成年後見制度についての説明を受けている。以前に地域福祉権利擁護事業を活用したケースもある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際には充分説明し、理解、納得が得られるよう努めている。説明も一方的にならないよう注意し、不安や疑問等遠慮なく出していただけるよう心掛けている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者に担当職員が決まっており、担当が意見や不満をお聞きしている。必要に応じ、代表者及び管理者が同様の対応をしている。また、その内容を職員会時に話し合いを行っている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に一回の職員会の時の意見交換を行っている。随時必要な時は一対一で意見、提案できる機会を設けている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は職員の努力や勤務状況を把握できるよう、月に何度か職員個々と話し合いが出来る時間を確保している。また、キャリアパス、介護職員処遇改善交付金の配分等、職員会議で説明を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が希望する研修の他、管理者が予定を調整し、職員個々に合った研修に参加できている。研修後、報告書を作成、伝達講習を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	全国や県域、市単位の協会等に所属しており、講演、勉強会には代表者、職員が参加し、同業者と交流する機会になっており、サービスの質が向上するよう努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	あらかじめ余裕を持って面接の時間をセッティングし、管理者や介護支援専門員及び職員がご本人と充分お話する時間を持つようにし、ご希望や不安などをお聞きしたうえ、職員間で情報を共有し、早く馴染んで頂ける様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申込、相談や見学は可能な限り、管理者、介護支援専門員が受けるようにしており、ご家族の不安な事、求めている事を出来るだけ複数の職員で聞く事により、色々な状況に対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族と十分な話し合いを行い、思いや状態を確認し、信頼関係を築きながら、改善に向かっていくような支援が出来るよう、心掛けている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>出来る事、出来ない事をご本人との会話や生活の中で見極め、無理のない範囲で家事や園芸に参加をしていただいている。職員が生活の中で色々な事を教えていただくことも多くある。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族会やお便り（田園）を通じ、ご本人の情報を家族と共有している。体調の変化等ある場合は、家族と相談し、一緒に考えよりよい方法を模索している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居前より利用していた美容室に出かけたり、また、友人等の来所もある。手紙等で連絡をとるなどし、継続的な交流も出来ている。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>台所仕事、洗濯干し、畑仕事等、利用者同士が一緒に行えるよう、職員が利用者間の橋渡しを行い、関係がうまくいくよう調整役となり支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療機関での治療が必要となりホームを退居された場合には、お見舞いに伺ったり、死亡された場合も葬儀に参列させていただいている。退居後、相談等ある場合には、代表者、管理者が対応を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員が日常的な会話などから、思いや希望の把握に努めている。担当職員は常に意欲の発掘に心がけている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前、入居時に十分な時間をとり、これまでの生活歴や生活環境、サービス利用の経過等、ご本人、ご家族から聞き、職員が把握するようにしている。入居後、新しい情報が得られた場合も記録し、職員が把握できるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	加齢、病気などからくる体調変化等に注意しながら、日中の過ごし方、心身状態、有する力等、申し送り、記録等で職員全員が把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	利用者との日頃の関わりの中で、思いや意見を聞き、アセスメントを行い、カンファレンスに関しては家族に参加していただき、意見やアイデアが介護計画に反映できるよう努めている。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	介護計画に沿った個別記録を行っている。また、プランチェック表を利用し、日々介護計画が実践できているかチェックし、介護計画見直し時に活かせるようにしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	本人、家族の状況に応じて、通院等柔軟に対応している。また、ボランティアの方のマッサージ等、利用者のニーズに対応している。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	ボランティアの方に来ていただき、趣味、嗜好に沿った歌や踊りを催していただいたり、ヤクルト、パン、豆腐等の訪問販売もしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関、協医歯科医療機関以外にも、本人や家族の希望により他医療機関も受診している。必要に応じ、付添いや、家族とも同行している。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関の訪問看護を週に一度受けている。その都度状態を報告し対応方法を相談している。入居者の相談にも気軽に応じている。また、訪問看護師と主治医の連携が十分できており、迅速かつ適切な医療を受ける事が出来ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院中は職員が何度か訪問させていただき、不安感を出来るだけ軽減できるように努めている。また、できるだけ早期退院できるよう、医師、看護師、相談員等との話し合いを持っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の意向をふまえ、主治医と話し合い、本人、家族の希望に出来る限り沿え、安心して最期を迎えられるよう、職員全員で方針を共有しケアを行うよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修会に参加したり、主治医や訪問看護師から急変に対する応急処置等の御指導をいただいている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に二回、消防署の協力のもと、避難訓練を行っている。その際、地域住民に声をかけさせていただき、参加、協力も得ている。</p>		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>さりげない介助、言葉かけを心掛け、本人の気持ちやプライバシーを損なわないよう努めている。毎日使用する記録は他者の目の触れないよう注意している。個人情報に関しても事務室にて鍵をかけ保管している。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ドライブの行き先や食事の献立、日中のレク等、入居者の希望に沿えるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	一人のペースが尊重できるよう、業務を優先しないよう心掛けている。入居者に気軽に話し掛けていただき、希望が聞き出せるよう努めている。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	朝の更衣時、服の選択は基本的に自己決定していただいている。また、本人と担当職員と一緒に買い物に出掛け、その人らしいおしゃれが出来るよう服や小物等も購入している。		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	食事の下ごしらえ、盛り付け等はなるべく入居者にも参加していただいている。一つのテーブルに入居者と職員が一緒につき、楽しい食事が出来るよう、会話やさりげない介助を心掛けている。また、入居者により刻んだり、量を調節させていただいている。		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	献立と食材は記録し、栄養バランスを考慮している。利用者の状態に応じ個別記録を行っている。また、不定期ではあるが、栄養士にカロリー計算を頼み、職員の意識づけも行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	生活習慣の違いにより、全員は毎食後歯磨きはされていないが、うがい等、一人ひとりに応じた声掛け等の支援をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、声掛けや誘導を行っている。パット等も時間帯や季節に合わせ、見直しを行い、不快感が少なくなるよう努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を使用し、排便パターンの確認を行っている。予防のためヨーグルトやヤクルト等を定期的に提供している。また、便秘の方には水分補給や体操、入浴時のマッサージ等、気をつけ取り組んでいる。便秘が継続する場合は主治医の指示を仰いでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	希望者は毎日入浴できている。一人での入浴を嫌がる利用者には、仲の良い方と一緒に入ったり工夫している。入浴を希望されない方には、清拭や足浴、手浴を行い支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>睡眠パターンを把握したうえで眠れない場合原因を見極め、温かい飲み物を提供したり、会話をするなどし、ゆっくり落ち着ける雰囲気になるよう配慮している。また、日中はなるべく体を動かすよう心掛けている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人のファイルに処方箋を保管し、いつでも職員が目を通せるようにし、目的、効能、副作用など把握できるよう努めている。また、処方に変更があった場合、利用者の状態変化等にも気をつけ、記録をとるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの生活歴や好みや能力に応じ、日常の暮らしの中で、楽しんだり、活躍しながら役割が担えるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>ホームが田園地帯にあり、交通の心配をせず散歩に出掛けられる。入居者の希望でドライブも頻繁に出掛けている。家族の協力もあり、家族と一緒に外出される方も多い。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>数人の入居者はお小遣いを所持しており、外出時には好きな物を自分で選び、支払をしている。所持していない方も、必要時には立替、自らレジ等での支払いが出来るよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人が電話での会話を希望される場合、会話を楽しんでいただいている。ダイヤル等については、個人の能力に応じ支援している。本人、家族の希望で携帯電話を所持している方もいる。手紙は不定期であるが、家族、友人等に出すよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>防火カーテンを各居室や廊下等で使用し、不快な光が入らないようにしている。また、テレビや会話の音量や調子も不快にならないように気をつけている。節句、七夕、クリスマス、お正月等には入居者と共に飾り付けを行い、季節感を味わっていただけようようにしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングの他に、縁側等に椅子を置いて、思い思いに過ごせるようにしている。玄関先には椅子とテーブルを置き、自由に外に出てくつろいだり、花が眺められるよう工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人や家族の希望で必要最小限のものしか置かれない方、趣味の作品を飾られている方もいられ個性が出ている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下、トイレ、浴室に手摺りを設置している。その他、ご本人の状況に合わせて環境を整えるよう努めている。居室入口に表札を掛けて分かりやすくしている。トイレには雰囲気壊さない程度の目印をつけている。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名： れんげ棟	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない